

マークテック

バッテリーのリサイクルビジネスで協業

マークテックエナジーら4社

マークテック（西本圭吾社長・東京都大田区）は、Reduce（削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再生）といった循環型経済を重視した事業展開を進めている。

イズ（西本圭吾社長・東京都大田区）、ナノシイズ（島田泰拓社長・名古屋市）の4社間で、包括的業務提携契約を締結した。

していくとしている。

マークテックによれば、「自動車業界をはじめとした電池材料分析において、これらの分析技術には強いニーズがあり、これまで蓄積した豊富な実績をもとに、高精度な分析データを提供し、リサイクルプロセスの最適化を支援していきたい」としている。

こうしたなか、同社では、リチウムイオンバッテリーをはじめとしたバッテリーのリサイクルビジネスに関して、リーテックリニューアブルエナジーソリューションズ（笠井智廣社長・東京都千代田区）とハイテクラ

マークテックとハイテクライズは、ブラックマス抽出処理や溶媒抽出処理で抽出されたブラックマスやレアメタル（リチウム、コバルト、ニッケルなど）に対して、成分分析、バッテリーリサイクル材料として求められる性能評価や品質チェックの先進サービスを提供

産報出版株式会社 発行

検査機器ニュース 第 1537 号 (2025 年 4 月 5 日)